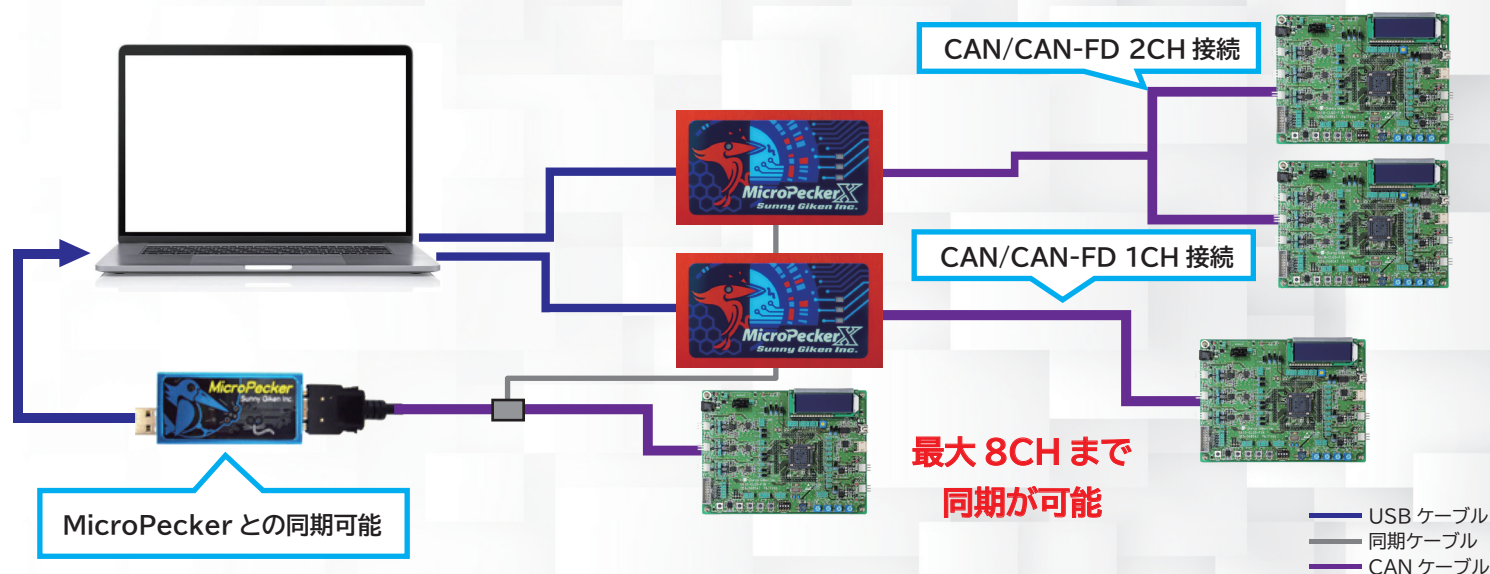




CAN/CAN-FD デュアルチャンネル (2CH) 通信アナライザツール



ユーザの用途に合わせて様々な利用が可能



MicroPeckerX CAN-FD Analyzer の 標準ソフトウェア GUI の機能をフルで使えるライセンス

02 メッセージ認証機能プラグイン

セキュリティ通信に対応できるメッセージ認証機能プラグインを
年間ライセンスと永久ライセンスから選択して追加が可能

03 アプリケーション開発ライブラリ

MicroPeckerX を制御して CAN/CAN-FD 通信を用いた
ユーザアプリケーションを簡単に開発できる制御 API 群を無償提供

04 Linux での通信モニタ / メッセージ送信も可能

Linux 向けの MicroPeckerX 制御 API 群とカーネル用 SocketCAN ドライバを無償提供

05 インターフェースモデル

MicroPeckerX 本体を CAN/CAN-FD 通信の
インターフェース機器として使用可能

MicroPeckerX CAN-FD Analyzer 標準ソフトウェア機能

■モニタリング機能

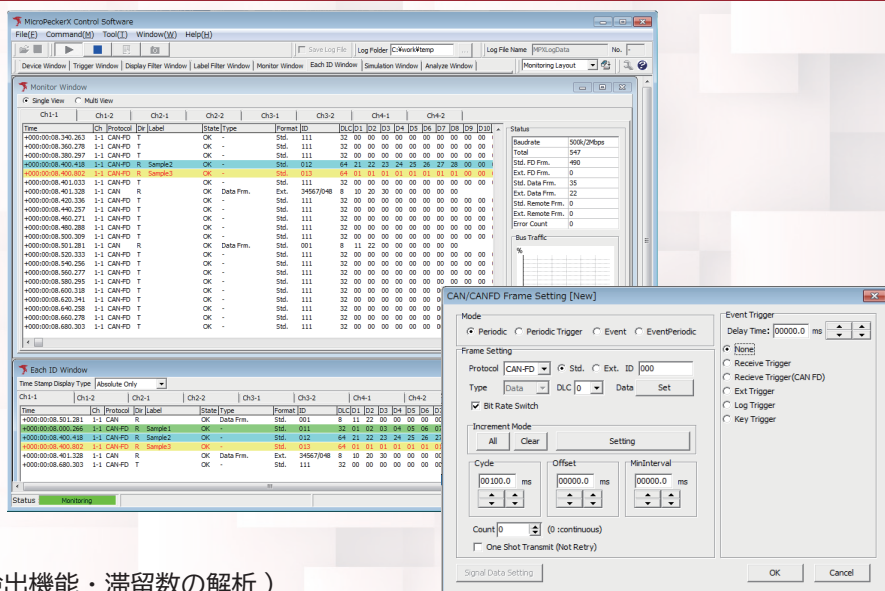
- ・1台で2CHまで同時モニタリング
- ・リアルタイムでバス統計情報を表示(1CHのみ)
- ・フィルタ機能で画面表示をカスタマイズ可能

■ノードシミュレーション機能

- ・フレームは28個まで登録可能
- ・周期送信、イベント送信、イベント周期送信に対応
- ・取得したログの通りにフレーム送信が可能
- ・マルチチャンネルの同期送信が可能
- ・バースト転送モードでバス負荷100%を再現可能

■ログ解析機能

- ・同一IDフレーム間隔の解析
- ・ゲートウェイのメッセージ解析(遅延時間計測・消失検出機能・滞留数の解析)



メッセージ認証機能プラグイン



MicroPeckerX を機能拡張して、セキュリティ通信へ対応

■セキュリティ設定

- ・JASPAR 仕様のセキュリティプロファイルをプリセット
- ・MAC、FV のビット位置を設定するだけで簡単検証
- ・CH、共通設定の他、CAN ID 毎の設定が可能
- ・ユーザカスタムプロファイルの作成が可能

■モニタリング機能

- ・MAC 付メッセージをフィルタしてペイロード、MAC、FV 等を表示
- ・リアルタイムで MAC 検証 (OK/NG)、MAC 検証回数を演算
- ・ペイロード、MAC、FV は分割表示して、ログファイルへの出力が可能

■シミュレーション機能

- ・任意の CAN ID メッセージに MAC、FV を自動付与して送信可能

■簡易 FV マスタ機能

- ・MicroPeckerX からの同期メッセージの送信が可能

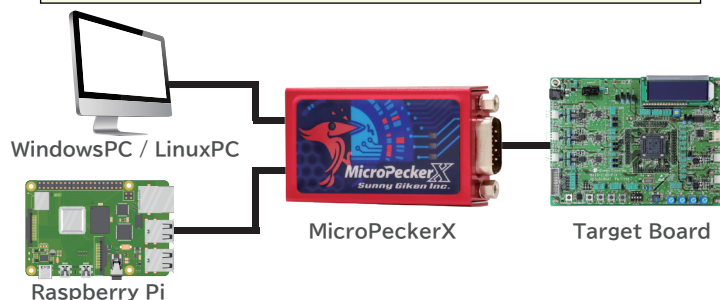
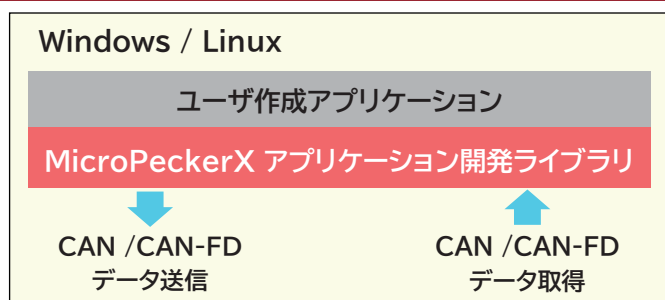
MicroPeckerX CAN-FD アプリケーション開発ライブラリ



MicroPeckerX を制御して、CAN 通信または CAN-FD 通信を用いたアプリケーションを簡単に開発することができる制御 API 群を無償提供

◆アプリケーション開発ライブラリ活用事例

- ・PC アプリケーションで CAN/CAN FD 通信を制御してターゲットの評価ツールを開発
- ・PC アプリケーションからの CAN/CAN FD 通信評価を自動化
- ・CAN/CAN FD 通信リプログ、ダイアグソフトの評価用ツールを作成
- ・Linux 環境から CAN 通信、CAN FD 通信を行いたい
- ・Raspberry Pi (ラズベリーパイ) を使って CAN 通信、CAN FD 通信を利用する



- 他社製品名は各社の商標または登録商標です
- 改良等のため予告なく掲載事項を変更させていただく場合がありますので、予めご了承ください
- 製品についての最新情報は当社 Web サイトでご案内しています



株式会社サニー技研 名古屋事業所

〒460-0003 愛知県名古屋市中区錦 2-2-13 名古屋センタービル本館 5F

TEL : 052-221-7600 (代表) / FAX : 052-221-0071

MAIL : info@sunnygiken.co.jp / URL : https://sunnygiken.jp

2021年12月発行